

学校関係者評価委員会報告書

学校法人瓶井学園日本メディカル福祉専門学校は、平成30年度学校自己点検・自己評価結果に基づいて、令和元年7月20日に学校関係者評価委員会を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

令和元年7月30日

学校法人瓶井学園

日本メディカル福祉専門学校
学校長 瓶井 修

1. 学校関係者評価委員

氏名	所属
岡本 高博	大阪市成年後見支援センター 本校卒業生
北野 暢隆	社会福祉法人若葉会保育園こどものくに 園長
蔵敷 重壽	元大阪市立都島工業高等学校 校長、 元大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
山崎 康祥	大阪府臨床工学技士会 理事 (当日急用により欠席)
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校 学校長
堀川 茂野	日本メディカル福祉専門学校 副校長
中道 和則	日本メディカル福祉専門学校 教務課長
小保方 敬子	日本メディカル福祉専門学校 教務主任補

2. 議事報告

項目	評価・意見
(1)教育理念・目標	「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 保護者懇談会を平日の設定では保護者が仕事の都合で時間が取れないこともあり、学生に何かあった時に、密に連絡を取るようになっている。
(2)学校運営	「教育活動等に関する情報公開が適切になされているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 適宜見直す必要があるため、今後も学校関係者評価委員会において、公開項目の検討を重ねるとの方針が決定した。 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 事務側と教務側で意見交換を行い、今まで以上に連携をとってスムーズに業務の効率化を行う。また、資料請求者のインターネットの申し込みについて、リクルートの分析を導入し今後入学者の分析を行っていく。
(3)教育活動	「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラム教育方法の工夫・開発などが実施されているか」という点について 「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラム

	<p>の作成・見直しが行われているか」という点について</p> <p>臨床工学科とこども福祉学科に関しては、カリキュラムは厚生労働省の定めによるもので既存の補佐的な役割としての講義、実習となる。</p> <p>臨床工学科：正規カリキュラム以外の特別講義を実施した。昨年度に年間スケジュールを決定し、1年生と2年生、3年生に対し、今年5月、6月に行った。特別講義は卒業生および卒業生を通じ企業の方に依頼した。臨床工学科は今後、特別講義を広げていく予定である。また臨床実習前に卒業生のいるクリニックにて患者さん対応について、2年生を対象に模擬実習を行った。たくさんの卒業生の方から指導を受けることができた。今年度も12月に実施する予定である。</p> <p>こども福祉学科、保育士科（通信）では平成31年4月より新カリキュラムにのっとった教育を、今年度入学の1年生を対象に行っている。今後は、一定期間経過後に教育内容についての検証をおこなっていく。</p>
(4)学修成果	<p>「資格取得率の向上が図られているか」について、臨床工学科は不適切との自己点検・自己評価報告を行った。昨年度は国家試験の合格率が全国平均を下回る結果であり、個人面談の充実や担任だけではなく、全教員で学生に関わっていく取り組みを実施する。とくに3年生では補講の日数を増加させ、学生の知識の向上を目指す。</p> <p>「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」、「卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>こども福祉学科の学修成果については、本科生のほかに訓練生の受け入れをおこなっており、お互いの相乗効果によって、授業の取り組む姿勢や就職活動が意欲的、活発的に行われている。</p>
(5)学生支援	<p>「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」、「学生への生活環境への支援は行われているか」、「保護者と適切に連携しているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。今年度から、定期的に保護者懇談会の実施や連絡を密にとり、保護者との連携の場を作っていくとの方針が決定した。</p>
(6)教育環境	<p>「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」、「防災に対する体制は整備されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。訓練の実施回数が少ないので回数を増やしていくとの方針が決定した。</p>
(7)学生の受入れ募集	<p>月一回のオープンキャンパスイベントの実施、学生の活躍する姿のポスターを作成し、高校訪問を行っている、特に問題なし。</p> <p>臨床工学科では、全教員で週1回 半日時間をつくって高校訪問、大学訪問を行っている。</p> <p>こども福祉学科、保育士科（通信）については、実習巡回時に教員が広報活動をおこなっており、保育士科（通信）については入学につながっている。</p>
(8)財務	特に問題なし。
(9)法令等の遵守	<p>「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」、「自己評価結果を公開しているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥</p>

	<p>当であるとの意見が一致した。</p> <p>今年度もホームページにて「自己点検・自己評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行った。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<p>特に問題なし。</p>
(11)国際交流	<p>「学習成果が国内外で評価される取組を行っているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>学習成果が国内外に伝わるよう、ホームページを充実させ、情報発信を強化するとの方針が決定した。</p>